

令和6年度 地方創生拠点整備交付金 効果検証について

(令和6年12月末時点)

No	事業名称	事業概要	総事業費 (千円)	交付金 充当額 (千円)	事業実績	重要業績 評価指標	単位	目標値	R4	R5	R6	R7	評価	進捗状況の分析と今後の取組み
								実績値						
1	「海」・「山」・「まち」地域資源を活用し「新しい生活様式」に対応した体験型観光拠点事業	ベイサイドビーチ坂にアウトドア活動拠点施設（アウトドア用品レンタル及び販売機能）及びカヤック艇庫を整備し、交流人口の増加を目指すとともに、関係人口の増加に繋げることを目指す。	399,850	199,925	事業実施期間 ・令和3年4月1日～令和5年1月31日 事業実績 ・実施設計業務 ・建設工事監理業務 ・物販棟・艇庫棟建設工事	観光拠点施設の売上高※増加分	千円	目標値	28,000	6,000	4,000	2,000	遅れている	観光拠点施設における雇用者数については、目標値を達成し、雇用の拡大を図ることができた。観光拠点施設の売上については、令和6年3月末に飲食店が閉店となり、新たな飲食店が開店した令和6年6月までの2ヶ月間、施設の売上がなかったこともあり、目標値を達成できなかった。 アウトドアアクティビティ体験者数については、目標値を下回ったが、カヤック・SUP体験及び自転車の貸出等、本町の自然を活用したアウトドアアクティビティを提供することができた。今後も、ベイサイドビーチ坂の年間を通じた賑わいの創出と交流人口、関係人口の増加を図るため、観光拠点施設及びベイサイドビーチ坂の魅力やイベント情報等を発信していく。
								実績値	-	184,868	△ 37,331	-		
						アウトドアアクティビティ体験者数※増加分	人	目標値	300	200	100	100	遅れている	
								実績値	-	128	58	-		
						観光拠点施設における雇用者数※増加分	人	目標値	8	1	1	0	順調	
								実績値	-	20	3	-		

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装) 効果検証について

No	事業名称	事業概要	総事業費 (千円)	交付金 充当額 (千円)	事業実績	重要業績 評価指標	単位	目標値	R4	R5	R6	R7	評価	進捗状況の分析と今後の取組み
								実績値						
1	LINEを活用した行政情報伝達と即時メッセージ発信システムの導入事業	プッシュ通知や利用者自身が配信情報を選択することができるLINEシステムを運営するとともに、住民サービスの向上を図るため、電子申請システム等と連動するための機能の追加や既存のホームページの改修(デザインの修正、緊急情報を迅速に情報提供するためのコンテンツ等の追加)を行う。また、LINE登録友だち件数の増加を図るため、PR動画等を制作する。	10,884	5,442	事業実施期間 ・令和4年4月1日～令和5年3月31日 事業実績 ・LINE保守・運用業務 ・ホームページ構築業務 ・電子申請システム改修業務 ・電子収納サービス導入業務 ・施設予約システム導入業務	LINE登録友だち件数	件	目標値	3,000	4,000	5,000	-	やや遅れている	LINE登録友だち件数は、目標値を下回ったが、増加傾向である。利用者アンケートによる情報発信満足度は、令和7年4月に調査を実施予定。 LINE登録友だち件数の更なる増加に向けて、各種イベントでの坂町公式LINEのチラシの配布や町主催のスマホ教室での紹介等により坂町公式LINEの普及浸透を図る。 また、利用者の満足度向上のため、必要な情報(避難情報等)、暮らしに役立つ情報(ごみの収集日等)、知りたい情報(イベント情報等)を過不足なく提供していくとともに、利用者アンケート等で収集した意見・要望をサービスに反映し、より使いやすい公式LINEを目指す。
								実績値	1,809	2,469	3,036	-		
						利用者アンケートによる情報配信満足度	%	目標値	70	75	80	-	-	
								実績値	75.9	78.7	R7.4 実施予定	-		
2	デジタル技術を活用した移住・定住促進と町の魅力発信プロジェクト	自宅にいながらスマートフォン等で施設や空き家物件等を360度見渡すことができ、その場にいるような体験ができるVRを導入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛時や遠出が難しい方にも、本町の魅力や施設、空き家物件等の情報をHPやSNS、テレビのデータ放送等を活用して情報発信する。また、動画等の魅せるデジタルコンテンツ等を充実化し、本町の認知度を高め、移住・定住促進及び交流人口・関係人口の増加を図る。	5,382	2,691	事業実施期間 ・令和5年4月1日～令和6年3月31日 事業実績 ・VR画像制作業務 ・VRシステム運用業務 ・VR用カメラ・三脚の整備 ・dボタン広報誌運用業務 ・PR動画制作業務 ・LINE保守・運用業務 ・ホームページ保守・運用業務	VR画像コンテンツ数	件	目標値	-	12	13	14	順調	VR画像利用満足度は令和7年4月に調査予定。移住・定住相談件数は、目標値を達成することはできなかったが、各種イベント等で移住・定住に関するチラシの配布や首都圏で開催された移住フェア等に参加し、移住に関する相談を受け付けた。令和7年度も積極的に移住フェア等へ参加、町公式SNSによる移住・定住者向けの情報発信し、町の認知度向上を目指す。その他については、目標値を達成することができた。 今後は、VRコンテンツの追加及び利用者アンケートで寄せられた意見を踏まえたサービスの改善により、更なる利用者満足度の向上と、移住・定住促進及び交流人口・関係人口の増加を図っていく。
								実績値	-	17	17	-		
						坂町公式SNS登録件数	件	目標値	-	5,000	5,500	6,000	順調	
								実績値	-	6,101	6,760	-		
						坂町公式SNSの発信回数	回	目標値	-	400	450	500	順調	
								実績値	-	561	505	-		
						観光客数	人	目標値	-	301,000	550,000	620,000	順調	
								実績値	-	512,266	607,273	-		
						VR画像利用満足度	%	目標値	-	60	65	70	-	
								実績値	-	72.3	R7.4 実施予定	-		
						移住・定住相談件数※増加分	件	目標値	-	15	20	25	遅れている	
								実績値	-	△5	2	-		

No.	事業名称	事業概要	総事業費 (千円)	交付金 充当額 (千円)	事業実績	重要業績 評価指標	単位	目標値	R4	R5	R6	R7	評価	進捗状況の分析と今後の取組み
								実績値						
3	坂町スマート窓口推進事業	役場窓口での住民の「迷う、待つ、書く」負担を軽減するため、町公式LINE及びHP上に支援制度や相談窓口、電子申請等への案内を行う「坂町スマホでらくらく窓口」を設置するとともに、窓口手続等支援システム及びキャッシュレス決済の導入等により総合的な窓口改革を行い、住民の利便性向上を目指す。	10,440	5,220	事業実施期間 ・令和6年4月1日～令和7年3月31日 事業実績 ・キャッシュレス決済システム導入業務 ・窓口手続等支援システム導入業務 ・坂町スマホでらくらく窓口導入業務	窓口手続等支援システム利用件数	件	目標値	—	—	255	1,190	-	窓口手続等支援システムについては、令和7年3月末までに稼働予定。 また、各業務の満足度については、令和7年3月、4月にかけて調査を実施予定。 坂町スマホでらくらく窓口については、坂町公式LINE及びホームページからアクセスでき、令和6年12月末時点で月平均486件(令和6年8月下旬～令和6年12月末 1,942件)を達成することができた。 キャッシュレス決済(住民票等の手数料、施設利用料)についても、目標値を達成できている。 今後は、各業務で実装したデジタルサービスの認知度及び満足度の向上に向けて広報さかやSNS、町施設等でのチラシ配布を行うとともに、各サービスの対象範囲(キャッシュレス決済の対象、坂町スマホでらくらく窓口に掲載する手続等)の拡充を図る。
								実績値	—	—	R7.3 実施予定	—		
						キャッシュレス決済利用率	%	目標値	—	—	10	15	順調	
								実績値	—	—	12	—		
						坂町スマホでらくらく窓口アクセス件数(月平均)	件	目標値	—	—	250	300	順調	
								実績値	—	—	486	—		
						申請者作成支援システム利用者の満足度	ポイント	目標値	—	—	3.0	3.2	-	
								実績値	—	—	R7.3 実施予定	—		
						キャッシュレス決済利用者満足度	ポイント	目標値	—	—	3.0	3.2	-	
								実績値	—	—	R7.3 実施予定	—		
						デジタル窓口利用者満足度	ポイント	目標値	—	—	3.0	3.2	-	
								実績値	—	—	R7.3 実施予定	—		

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 効果検証について

No.	事業名称	事業概要	総事業費 (千円)	交付金 充当額 (千円)	事業実績	重要業績 評価指標	単位	目標値	R4	R5	R6	R7	評価	進捗状況の分析と今後の取組み
								実績値						
1	「小屋浦地区」活性化プロジェクト	小屋浦地区に、商業・医療・住宅など、日常生活に欠かせない機能を有する事業者等を誘致し、小屋浦地区に新しい人の流れをつくりだすとともに、小屋浦地区に賑わいを創出する。	【R5】 3,300 【R6】 24,200	【R5】 1,650 【R6】 12,100	【R5】 事業実施期間 ・令和5年4月1日～令和6年3月31日 事業実績 ・小屋浦地区市場調査業務 (1)小屋浦地区の現況整理 (2)事業者等へアンケート調査(小屋浦地区への参画意欲など)の実施 【R6】 事業実施期間 ・令和6年4月1日～令和7年3月31日 事業実績 ・小屋浦地区活性化基本構想等策定業務 (1)事業対象地の現状把握 (2)事業対象地を活用した配置計画等の作成 (3)事業者誘致に向けた手法、プロセスなどの整理 (4)事業者誘致コーディネーターの配置 (5)事業者誘致支援 (6)機能誘致提案募集	小屋浦地区の社会増減数※増加分	人	目標値	—	0	30	50	遅れている	目標値は、転入126人、転出136人で、社会動態は△10人であった。現在、町有住宅の建替及び商業機能等の誘致に向けた基本構想を策定中である。社会増減は、マイナスとなっているが、小屋浦地区の人口増に向け、着実に事業を進めている。 SNSでの情報発信回数等を増やした結果、目標値を大幅に上回ることができた。次年度も積極的にSNSで情報発信を行い、町外の多くの方に坂町への関心を高めていただけのように、SNSの情報発信の回数が増やすとともに、坂町での暮らしや子育て情報等を親しみやすく・わかりやすい内容で掲載していく。3年目以降の目標値を上方修正する。 目標値を達成することはできなかったが、各種イベント等で移住・定住に関するチラシの配布や首都圏で開催された移住フェア等に参加し、移住に関する相談を受け付けた。首都圏で開催された移住フェアの参加者は、広島県坂町の場所等を認知していない方も多く、移住・定住の候補地に挙げてもらうためには、町の認知度の向上が必要であることがわかった。令和7年度も積極的に移住フェア等へ参加、町公式SNSによる移住・定住者向けの情報発信、令和7年度に制作するデジタルパンフレット等を活用し、町のPRを実施し、認知度向上を目指す。 目標値は、未達成であるが増加傾向である。子育て世代から移住・定住の候補地に挙げていただくためには、商業等の機能誘致のスケジュール等を具体的に示していく必要がある。令和6年度の基本構想策定後、具体的な内容を示していくとともに、子育て世代に小屋浦地区での子育て環境等について情報発信していく。
								実績値	—	0	△10	—		
						坂町公式SNS登録件数※増加分	件	目標値	—	50	380	500	順調	
								実績値	—	1,101	659	—		
						移住・定住相談件数※増加分	件	目標値	—	10	30	40	遅れている	
								実績値	—	0	2	—		
						小屋浦地区の15歳未満の人口総数※増加分	人	目標値	—	0	13	25	遅れている	
								実績値	—	△4	2	—		